

(別添7)

事業所名 グループホームおおつるの家

2 目標達成計画

作成日: 平成29年6月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	誤嚥性肺炎により入院後より、固形物を嚥んで飲み込む事が出来なくなり、エンシュアと水分の補給のみになっている。	嚥む事を思い出し、誤嚥する事無く飲み込む事の支援を行う。	食べやすい食材と形状の提供。声かけ・嚥下体操・マッサージの実施。ご本人の食べる気力・嚥む気力を引き出す為の動作の援助(口角を引きながら飲み込む)(モグモグ嚥んで笑ってゴックン)等の訓練	2ヶ月
2	43	骨折により入院後自立した排泄が出来なくなり、確かな尿意も感じず 排泄に対する拘りが強くなっている。また、夜間の睡眠にも変化が出ている。	排泄の拘りを無くし、トイレへ行く事ばかり考えず、ゆったりした生活が送れる様な支援を行う。	トイレへ行った後排尿の確認を行い排泄パターン表に付ける。それによりその方のパターンが分かってくる。夜間も同じ様に行い、自然な排尿が行える様になるまでトイレ誘導を行う。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。